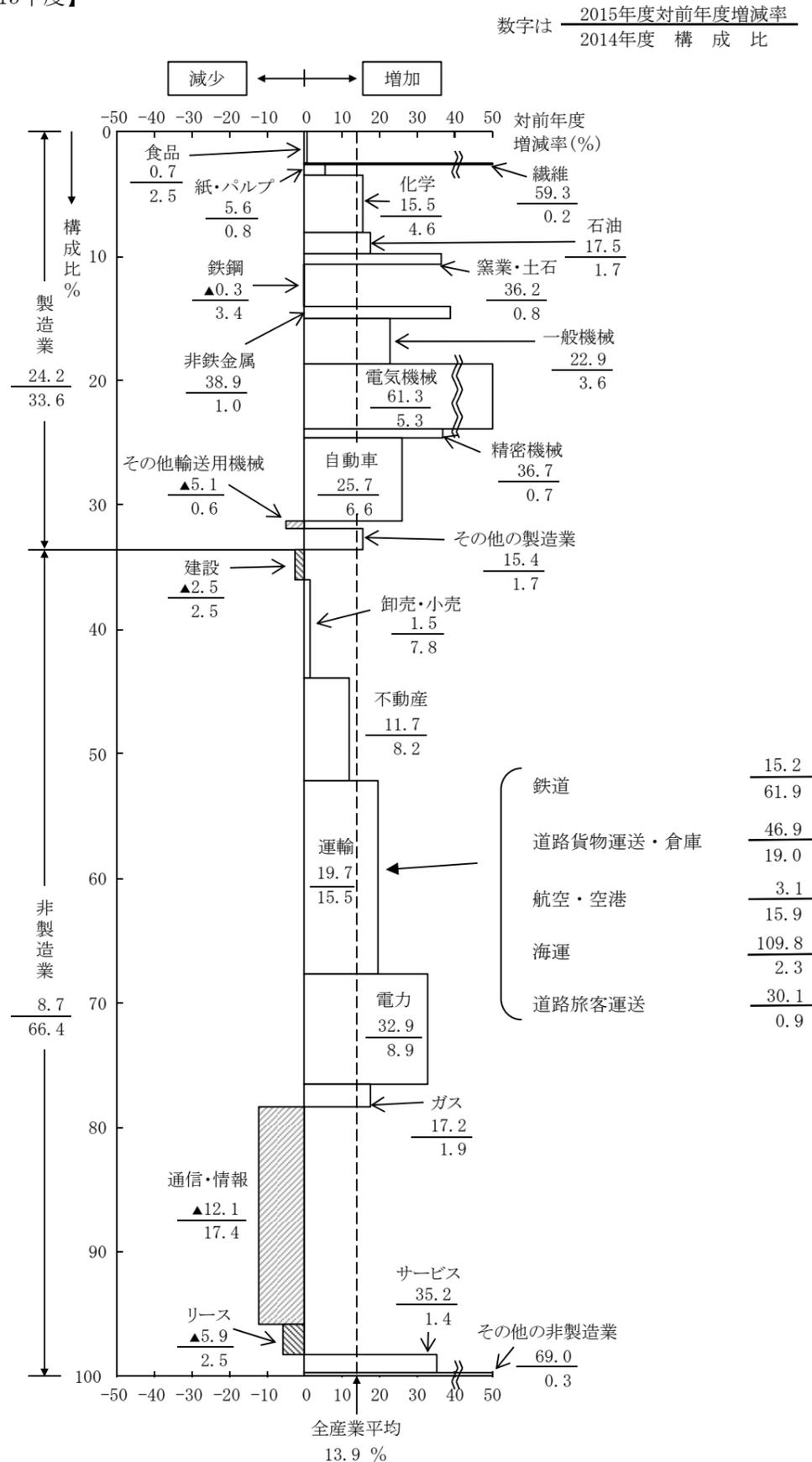


## 2015年度業種別設備投資動向(国内)

### <スカイライングラフ> (国内)

【2015年度】



### ～ウエイトの大きな業種(構成比順)～

上段の数字は当該産業の増減率(2014年度→2015年度)を、下段()内の数字は全産業に占める構成比(2014年度→2015年度)を示す

#### <製造業> 24.2%増

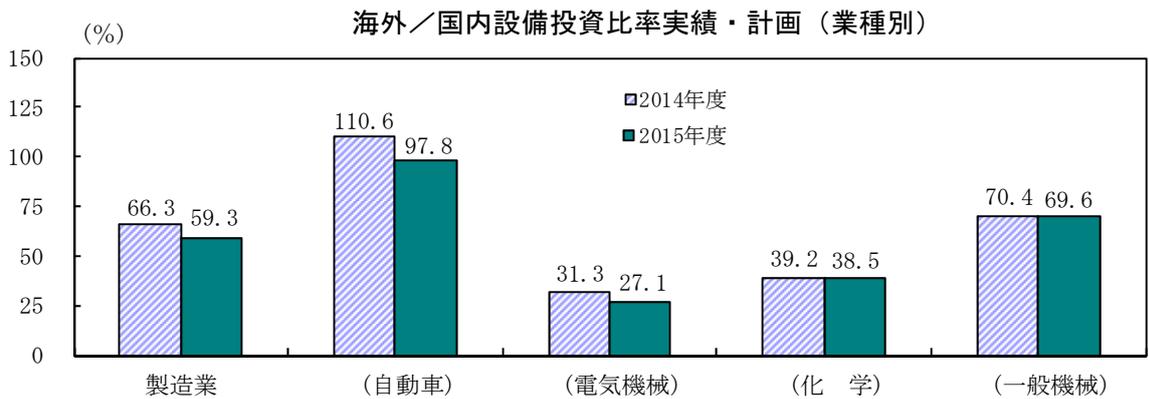
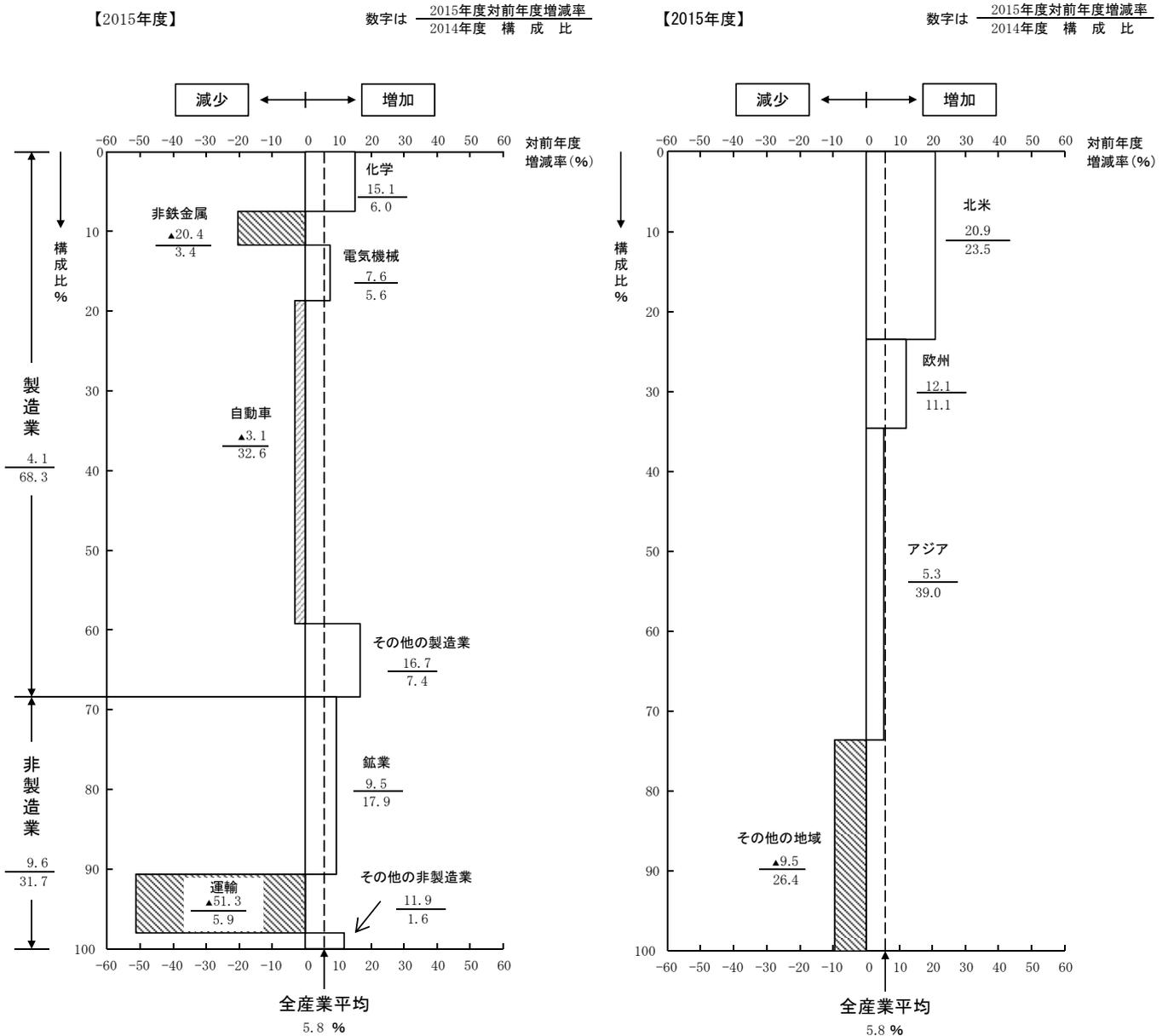
- 自動車** : 完成車、自動車部品ともエコカー関連を中心とした新製品・製品高度化が牽引するほか、維持補修も引き続き増加し、4年連続で増加する。  
5.3%→25.7% (6.8%→6.6%)
- 電気機械** : スマートフォンや車載向けの半導体、ディスプレイなどが増加するほか、データセンター新設などもあり、5年ぶりに増加する。  
▲4.0%→61.3% (5.3%→5.3%)
- 化学** : 電子・電池材料、衛生品向け化学品、医薬品が増加するほか、研究開発投資が幅広い分野で見られ、引き続き増加する。  
8.7%→15.5% (4.5%→4.6%)
- 一般機械** : 航空機や自動車向けの新製品・製品高度化に加え、事務民生用機械の開発施設整備なども増えることから、増加する。  
▲3.9%→22.9% (3.5%→3.6%)
- 鉄鋼** : 高炉改修は一段落するものの、その他設備の維持補修や合理化投資が増加し、ほぼ横ばいとなる。  
10.7%→▲0.3% (3.2%→3.4%)
- 食品** : 加工食品や乳製品で増産投資や維持補修があり、5年連続で増加する。  
3.5%→0.7% (2.5%→2.5%)
- 石油** : 製油所の再編に伴う投資や更新投資に加え、発電事業向けなどもあり、4年連続で増加する。  
27.2%→17.5% (1.4%→1.7%)

#### <非製造業> 8.7%増

- 通信・情報** : 放送サービス高度化などに伴う投資やデータセンター投資の増加があるものの、LTE関連の基地局投資が大幅に減少し、引き続き減少する。  
▲0.8%→▲12.1% (18.1%→17.4%)
- 運輸** : 鉄道で新幹線関連や不動産開発が増加するほか、物流施設整備や物流システム投資が継続し、船舶も増加することから、4年連続で増加する。  
7.4%→19.7% (14.8%→15.5%)
- 電力** : 安定供給や効率化、安全確保に向けた電源投資が広範にみられるほか、流通設備への投資もあり、増加する計画である。  
1.3%→32.9% (13.4%→8.9%)
- 不動産** : 都心部大型開発案件や中古資産取得により3年連続で増加する。  
38.4%→11.7% (6.0%→8.2%)
- 卸売・小売** : スーパーの新店・既存店投資や専門店の新店投資の増加により、5年連続で増加する。  
0.7%→1.5% (7.3%→7.8%)

# 2015年度業種別設備投資動向（海外）

## <スカイライングラフ>（海外）



(注) 海外／国内設備投資比率 = (連結ベースの海外設備投資 ÷ 連結ベースの国内設備投資) × 100

## 2015年度地域別設備投資の動向

### <スカイライングラフ> (地域)

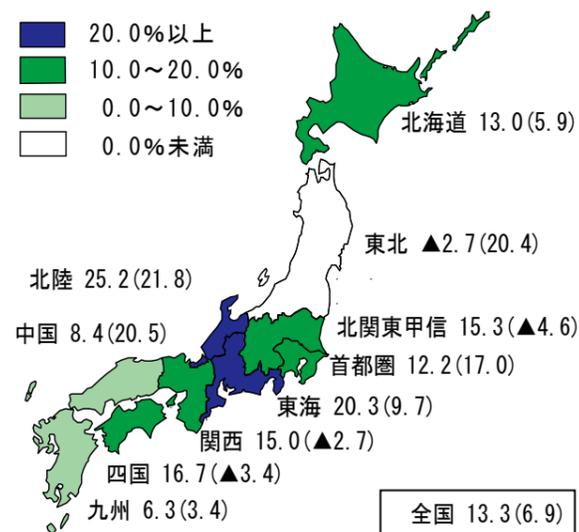
- 2015年度の地域別設備投資計画（地域別回答企業数：5,126社（注））は、電気機械、運輸、電力、輸送用機械、不動産などを中心に、東北を除くすべての地域で増加し、全国計で13.3%増と4年連続の増加になる。
- 2014年度は、北関東甲信、関西、および四国は減少したが、その他の7地域で増加し、全国計では6.9%増と3年連続の増加となった。

(注) 地域別設備投資は、大企業に加え、中堅企業（資本金1億円以上10億円未満）も対象

調査対象企業 11,451社  
地域別回答社数 5,126社

2015/2014 年度地域別増減率(%)

( )内は2014/2013の増減率



2015 年度地域別・業種別増減率

(%)

	全産業	製造業	非製造業
北海道	13.0	▲9.8	20.0
東北	▲2.7	6.6	▲11.5
北関東甲信	15.3	11.9	24.3
首都圏	12.2	23.7	9.2
北陸	25.2	39.1	14.2
東海	20.3	26.7	4.6
関西	15.0	39.7	4.1
中国	8.4	2.0	26.8
四国	16.7	18.5	11.2
九州	6.3	7.5	5.3
全国	13.3	23.1	8.1

(注) 地域別の増減率は、都道府県別回答が得られたデータを基に算出しているが、全国増減率は、都道府県別の回答が得られていないデータも含めて算出している。

【2015年度】

数字は  $\frac{2015年度対前年度増減率}{2014年度 構 成 比}$

